

平成 21 年 11 月 30 日  
(修正) 平成 22 年 6 月 7 日  
(修正) 平成 22 年 9 月 3 日  
(改訂) 平成 24 年 3 月 1 日  
(改訂) 平成 30 年 10 月 26 日

気 象 庁 観 測 部

## 配信資料に関する技術情報（気象編） 第 309 号

### ー ウィンドプロファイラ観測データの 10 分間隔での配信について ー

現在、気象庁では、全国 31 ヶ所に配置したウィンドプロファイラで、地上から対流圏中層までの風を観測し、1 時間毎（10 分平均値 6 個）に配信しています（配信資料に関する技術情報（気象編）第 97 号参照）。これに加え、平成 22 年 3 月から、10 分平均値を 10 分毎にファイル形式にて配信します。

新規に配信するデータの観測要素・観測高度は、これまでに配信しているデータから変更ありません。

平成 24 年 3 月 1 日からは新たに運用を開始する 2 ヶ所のウィンドプロファイラの観測データを追加します。

(1) 配信開始日 平成 22 年 3 月（予定）

(2) 配信時刻 毎 10 分

(3) ファイル名

Z\_C\_RJTD\_yyyyMMddhhmmss\_WPR\_SEQ\_RS-all\_Pww\_buf3r3.bin

(Z と C の間のアンダースコアは 2 個、その他のアンダースコアは 1 個であることに注意。yyyyMMddhhmmss には観測年月日時分秒が UTC（協定世界時）で入る。)

(4) ファイル形式 国際気象通報式 FM94 BUFR 二進形式汎用気象通報式  
(別紙 1 参照)

ファイルサイズはその日の観測状況により変わり、およそ 10kB となります。

(5) ファイルに含まれる地点 別紙 2 参照

(6) 配信にあたっては、10 分毎のリアルタイムデータ提供という観点から以下の条件で行います。

・観測者による手動品質管理が行なわれていないことから、1 時間毎の配信デ

ータ(従来形式)と異なる場合があります。また、観測装置の故障等により、誤データが含まれることがあります。

- システムの負荷状況等により一時的な配信遅れが発生する場合があります。
- 回線障害によりデータが配信できない場合があります。
- データの再配信や訂正報の配信は行いません。
- いかなる条件においても媒体等によるファイル提供は行いません。

<改訂・修正履歴>

○平成30年10月26日

- 別紙1のフォーマット表を改訂

## ウィンドプロファイラ観測データ フォーマット

BUFR 報は、一連のオクテット（1 オクテット＝8 ビット）からなる連続したビット列で構成され、冒頭及び末尾は、それぞれ国際アルファベット No.5 で符号化した指示符「BUFR」で始まり「7777」で終わる。その他すべてのオクテットは二進形式で資料を表現する。

各節の長さは、常に偶数オクテットとする。必要に応じてその末尾に値 0 のビットを付加して偶数オクテットとする。

第 3 節の資料記述子の長さは 2 オクテットで、2 ビット－6 ビット－8 ビットで構成する。

BUFR3版

ファイル名: Z_C RJTD yyyyMMddhhmmss.WPR.SEQ.RS-all.Pww.bufr3.bin				
オクテット番号	ビット数	説明	ダンプ例 16進表記	
第0節 (指示節)	1~4 5~7 8	32 24 8	国際アルファベット No5による記述で BUFR BUFR報全体の長さ BUFR報の版番号(3)	42 55 46 52 xx xx xx 03
第1節 (識別節)	1~3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	24 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	第1節の長さ(オクテット単位)通常は18 BUFRマスター表(標準は0) 作成副中枢(副中枢ではない=0) 作成中枢(東京=34) 更新一連番号 任意節を含まない(第1ビットを0) 鉛直観測資料(衛星を除く)=2 資料の副カテゴリ(中枢で定義) 使用マスター表のバージョン番号(8) 使用ローカル表のバージョン番号 年(電文作成年月日時分)(2001年=01) 月 日 時 分 (未使用=0)	00 00 12 00 00 22 xx 00 02 00 08 01 xx xx xx xx xx 00
第3節 (資料記述節)	1~3 4 5~6 7 8~9 10~11 12~13 14~15 16~17 18~19 20~21 22~23 24~25 26~27 28~29 30~31 32~33 34~35 36~37 38~39 40~41 42~43 44~45 46~47 48~49 50~51 52	24 8 16 8 16 8	第3節の長さ(オクテット単位)(通常は52) 保留=0 データサブセットの数(観測局の数) 観測資料・非圧縮=10000000 WMOブロック番号(0-01-001) WMO地点番号(0-01-002) 緯度(低精度)(0-0 5-002) 経度(低精度)(0-0 6-002) 観測所の標高(アンテナの海拔高度)(0-07-001) 使用測器(0-02-003) 年(0-04-001) 月(0-04-002) 日(0-04-003) 時(0-04-004) 分(0-04-005) 時間の特定(0-08-021) 期間(0-04-0 25) 遅延反復(1-07-000) 反復回数(0-31-001) 観測点のアンテナからの高さ(0-07-006) ローカル記述子資料幅(2-06-008) 品質管理情報(別表)(0-25-192) 風の東西成分(0-11-003) 風の南北成分(0-11-004) 風の鉛直成分(0-11-006) S/N比(0-21-030) 3節が偶数オクテットとなるよう値0のビットを付加	00 00 34 00 00 xx 80 01 01 01 02 05 02 06 02 07 01 02 03 04 01 04 02 04 03 04 04 04 05 08 15 04 19 47 00 1F 01 07 06 86 08 19 C0 0B 03 0B 04 0B 06 15 1E 00
第4節 (資料節)	1~3 4 5~	24 8 7 10 15 16 15 4 12 4 6 5 6 5 12 8 15 8 13 13 13 8 ?	第4節の長さ(オクテット単位) 保留=0 WMOブロック番号 WMO地点番号 緯度(低精度)(0.01度) 経度(低精度)(0.01度) 観測所の標高(アンテナの海拔高度m) 使用測器(ウィンドプロファイラ=6) 年 月 日 時 分 時間の特定 期間 反復回数(Y) 観測点のアンテナからの高さ(m) 品質管理情報(別表) 風の東西成分(0.1m/s) 風の南北成分(0.1m/s) 風の鉛直成分(0.01m/s) S/N比(dB) 4節が偶数オクテットとなるよう値0のビットを付加	xx xx xx 00
第5節 (終端節)	1~4	32	国際アルファベット No5による記述で7777	37 37 37 37

第4節の反復回数Yは観測できた層の数(観測最高高度)により変化する。

ウィンドプロファイラデータ品質管理情報（0-25-192）

ビット番号	
1	品質良好
2	時空間チェック（二次曲面チェック）による品質不良
3	鉛直シアチェックによる品質不良
4	空間比較チェックによる品質不良
5	取得率チェックによる品質不良
6	資料不足による品質不良
7	その他の理由による品質不良
全8ビット	欠測

## 配信地点一覧

	国際地点番号	地点名
1	47406	留萌
2	47417	帯広
3	47423	室蘭
4	47585	宮古
5	47587	酒田
6	47629	水戸
7	47626	熊谷
8	47674	勝浦
9	47678	八丈島
10	47640	河口湖
11	47656	静岡
12	47636	名古屋
13	47663	尾鷲
14	47795	美浜
15	47612	高田
16	47616	福井
17	47746	鳥取
18	47755	浜田
19	47891	高松
20	47893	高知
21	47898	清水
22	47800	巖原
23	47805	平戸
24	47815	大分
25	47819	熊本
26	47822	延岡
27	47848	市来
28	47836	屋久島
29	47909	名瀬
30	47912	与那国島
31	47945	南大東島
32	47590	仙台
33	47570	若松